

平成24年9月10日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成24年9月5日付け滝議第62号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

農政部長

農政部次長

農政部参事

農政部農政課副主幹

農政部農政課副主幹

農政部農政課主査

農政部農政課第三セクター専門員

若 山 重 樹

中 島 隆 宏

多 田 幸 秀

阪 本 康 雅

~~菊 田 健 二~~

山 本 健 裕

高 橋 博

(総務部総務課総務グループ)

第16回 経済建設常任委員会

H24. 9. 11(火)10:00～
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《農政部》

（1）滝川ふれ愛の里レストランに係る業務委託契約の解除について （資料）農 政 課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第16回 経済建設常任委員会

H24.9.11 (火)10:00～

第一委員会室

開 会 10:00

副委員長

それでは、ただいまから第16回の経済建設常任委員会を開会したいと思います。まず冒頭に、山口委員長が所用のため欠席しておりますので、副委員長の私が今回の委員長を務めさせていただきますこととお断り申し上げておきます。

委員動静報告

副委員長

本日の委員動静でございますけれども、山口委員長が欠席、坂井委員も欠席、そのほかに委員外議員として木下議員、それから井上議員ということで、井上議員は後ほどおくれるかと思っておりますけれども、委員外議員の届け出がございましたので出席を許可します。それから、渡邊龍之議員の傍聴を認めます。それでは本日の委員会を取り進めたいと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

1. 所管からの報告事項について

副委員長

それでは、所管からの報告事項に入りたいと思います。

農政部、(1)の滝川ふれ愛の里レストランに係る業務委託契約の解除についてということで、冒頭若山部長から。

(1) 滝川ふれ愛の里レストランに係る業務委託契約の解除について

若山部長

私のほうから本題に入る前に、急遽、経済建設常任委員会を開いていただきまして、感謝の意を申し上げたいと思います。

11月16日をもってふれ愛の里レストラン、有限会社しま田がやっているレストランが撤退するということを受けまして取締役会等を開き、その方向性はまだ決定しているところではございませんけれども、事実確認だけでも議員の皆様方にご報告申し上げたほうがより適切だという形で今回開催していただきました。できる限りのご答弁をさせていただきたいと思っておりますし、今後の方向性、また取締役会等を経ていない部分がございますので、またご質問にお答えできない場面もあるかと思っておりますけれども、よろしくお願いしたいと思います。

それと、今回名簿を提出しておりませんけれども、農政課にいます農業専門員の高橋が同席させていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。

本日はまことにありがとうございます。

それでは、担当のほうから内容について報告させていただきたいと思います。

多田参事

(別紙資料に基づき説明する。)

副委員長

ただいま所管のほうからふれ愛の里のレストラン業務委託契約の解除についての説明があったわけでございますけれども、皆さんからの質疑を受けたいと思います。ただ、この部分に限っての質疑ということで、多岐にわたらないようにご留意をいただきながら質疑していただきたいと思います。

それから、申しおくれましたけれども、議長がおくれて出席されますことをご報告させていただきます。

それでは、質疑ございませんか。

窪之内

まず、契約は1年契約という形でやっていたのか。3カ月前ということなので、契約の1年間の期間というのは11月16日というふうになっていたのだと思うの

ですけれども、その点1点お伺いしたい。

年末年始の宴会对応、体力的に難しいという、そういうふうな理由だというふうに説明がされました。調理人の確保が難しいということであれば、ここ二、三年こうした調理人の動きがあったのか。例えば昨年から調理人が少なくなっていたのか。そういったことでのことなのか、ここ二、三年調理人がどうした形でいたのか、それが1点。

それと、3カ月前ということで、このレストランで働いている人たちの雇用も解除というふうになるのかなと思うのですが、働いている人たちとの対応をしま田のほうはどのように考えているのか。

それと、取締役会でどうするのかということを検討されるようですが、年末年始も控えているということなので、今後の取締役会のこうした方針が決定する予定、いつごろ取締役会を開いて、そのときに決定するのか。例えばそこには提案だけで、もう一度取締役会を開いて決定するのかという。どちらにしても年末年始の対応があると思うので、その前にということになると思うのですが、その辺のスケジュール的なことについてお伺いしたいと思います。

多田参事

1点目でございますけれども、グリーンズとしま田との契約は1年契約でありまして、4月から3月までの1カ年契約をしまして、自動更新という取り扱いをしてございます。

それと、2点目の調理人の関係でございますけれども、ここ二、三年というのは非常に調理人を雇用しても長く続かなかつたりですとか、そういったような状況があるというふうには聞いてございます。具体的に何人ずつがどうのというのは、ちょっと今把握はしてございませんけれども、調理人がなかなか定着をしないといったような状況があったというふうには聞いてございます。

それと、中で働いている方の今後の雇用の関係でございますけれども、しま田のほうはどのように考えておられるのかというのはまだ、しま田が今後どのようにされるのかということも含めて確定はしていないようであります。グリーンズとしてそういった何かお手伝いできる部分や相談できる部分があるのであれば、その辺のところは対応をするというふうに伺ってございます。

4点目、取締役会での今後の方向性ということでありますけれども、委員さん言われるように年末年始というのは先ほどもお話しさせていただきましたが、書き入れどきであります。グリーンズにとっても非常に重要な時期でありますので、早急にどういう形でやっていくのかというのは取締役会で決めて、なるべく早い段階で決めて実行に移していきたいというふうに思っておりますけれども、具体的なスケジュールはまだ決まってはおりません。

以上です。

副委員長
多田参事

答弁漏れがありましたので、答弁お願いします。

9月18日に取締役会を開催する予定であります。その段階で方向性を出したい。できたら、その段階で決めたいというような気持ちを持ってございますけれども、そこで決まるのかどうなのかというのは取締役会の中の判断ということになろうかなと思っています。

窪之内

書き入れどきである年末年始を体力的に難しいとはいえ、そこでの収益が大きいという時期を前に契約が4月から3月までという中で、3カ月前ということであれば年末年始を終えた後でも切りのいい契約解除ということは可能だったのではないかと。可能だったというか、それが一定の社会的に見れば一つのルー

ルのかなと私は思う。ルールというか、4月から3月ですから、私として見たら契約期間を満了した上での契約解除というのが望ましかったのかなというふうに思うのですが、さっき言ったそういう書き入れどきを外して、その前にやめたいという中には、説明されたことではない理由があるのではないかなというふうに推測せざるを得ないのですが、公の場合なので、話せないということであればそうなのですが、何かほかに理由がなかったのでしょうか。

多田参事

先ほど申し上げました、理由はしま田として調理人のスタッフですとかそういった面、あるいは嶋田氏自身の健康上の観点からということでございます。ただ、なかなか宴会とレストランを両方同時に実施をするといった面の厳しさですとか、一部今回の報告も経営診断の中で報告させていただきましたが、レストランの営業時間の関係でレストランはそういう形で営業時間をずらすことがあっても、かわりにラウンジのほうを対応しているというようなことから、嶋田氏とすればなかなか休みがとりづらいような状況下になっていたというような面があって、体力的な面が大きいのかなというふうに判断をしております。宴会とレストランということで、例えば受けたグリーンズ側ははいという形で受けたのか、例えば体力的に難しいところをこういうふうに改善する、レストラン部門は別な形にするとか、そういった調整をされたのか、それともそうですかという形で意向をそのまま受けたということなのかお伺いしたいと思います。

窪之内

多田参事

グリーンズとしま田との関係については、分社化したときから特に調整がふえてきているという面もありますし、ここ二、三年は特にいろんな形でこの調整、協議を行ってきているところでもあります。そういった協議の経過の中で出てきたということでもあります。今まで接触を持っていないで急にしま田から出てきたということではなくて、今まで営業時間に関してもグリーンズからしま田のほうには、こういうことで改善できるのでないかとか、グリーンズと一緒になうまくできる方法がないのかについて協議をしてきております。そういった中で、最終的に今受けたしま田の判断として、もうこれ以上はできないということなので、グリーンズとしても先ほど言われたように年末年始の時期はどうしても外してほしいし、年始が終わった後でもというようなことも含めて、何とか方策がないだろうかということをしま田とも協議をしてきております。そういった経過の過程の中でしま田のほうから出てきているということなので、これ以上は無理なのかなというグリーンズの判断でございます。

副委員長

小野

ほかに質疑ありませんか。

今お話しいただいたのですけれども、撤退に至る最大の理由、しま田の申し入れがあったと思うのですけれども、単に契約内容の不満があったのかどうか、その辺を聞きたいのと、その辺の調整をしたのかどうかということと、今グリーンズ、中で食堂部門担当していますよね。その中のしま田の位置づけはどうだったのか、どういうふうにとらえていたのか。それから、年末年始云々ということありますので、売り上げはそんなに厳しかったのかという、その辺の動向を聞きたいのと、後継のめどはあるのかどうか、それをちょっと確認したいです。

多田参事

契約の内容についてでございますけれども、基本的な契約はレストラン、グリーンズとしま田のほうとでやってございますけれども、その仕様書の中でいろんな形でどういうふうにしてやっていこうということについての面は甲乙協議

をしながら進めてきているというような部分があるので、その契約内容に対する不満というのはそんなに大きいものはなかったのかなというふうに思っています。

それと、食堂部門の位置づけでございますけれども、グリーンズとしてしま田のほうに委託をしているということでございます。ふれ愛の里における食と健康の養生館という位置づけの中でのレストランというのは非常に大きいものがあるというふうに思っておりますし、お客さんにとって魅力の一つがレストランなのかなというふうにも思っておりますし、そういった面ではグリーンズからしま田のほうにどういう料理プラン、季節に合わせた料理プランですとか、そういったことへの要望も出したりだとかしながら、お客様に魅力のある施設としてアピールできるように対応をしてくているところであります。

それと、レストランの売り上げ動向でありますけれども、毎年売り上げについては下がってきております。レストラン、ラウンジ、宴会ともにここ数年といえますか、売り上げは減少傾向になってございます。入浴客につきましては、25万人ぐらいを確保してくているのですけれども、そのレストランの利用については下がってきているというのが実態でございます。

それと、後継のめどですけれども、後継のめどについては今のところ一切立ってございません。そういった面では、早急に次の対策をとっていかねばならないというふうに判断をしております。

小 野

一応後継はまだということで、これからの希望なのですが、私が何回かあそこを利用したときに以前にあったことは、例えば法事か何かで使うと、料理が出てきても最後に御飯出てくる場合、もう乾いていて冷たいとか、恐らく調理人のいろんな意向があったと思うのです。そういう苦情があったので、頼んだときに営業の人を呼んでフロントに苦情を申し入れたのですけれども、その後去年あたりも使ったけれども、それは改善されていないと。ということは、今までそういう経緯で、中身はそういうことがあったのでないかなと思うのです。今後やっぱり後継する場合にきちっとその辺も対応していかないと、また苦情が出ますので、そのような苦情があったのかどうか、その辺の中身をつかまえているのかどうか、それだけ聞きたいのですが。

多田参事

具体的なそういった話は伺ってございませんけれども、レストランの対応について問題があればフロントに来たりですとか、そういうことがあります。レストランがそういったお客様の意向を受けた場合にはグリーンズと両方ともこういったことがあったということの相互の連絡、調整は行うようにしておりますし、そういった中でも改善がされなかったという面があるというお話でございますけれども、今後そういうことがないように十分連絡をとった中で一体的な施設として運営していけるように図っていきたいというふうに思っております。

副委員長

ほかに質疑ございますか。

三 上

11月16日から後継が決まっていないということで、例えば探す作業をグリーンズだけに任せてしまうと、まだ決まらないということになっては絶対いけないと思うのです。来館者にやっぱり迷惑かけてはいけないし、あそこが閉鎖されていること自体見ばえとしてもよくないし、探すという部分では所管としてはどのようなことを考えているのかお聞きしたいと思います。

多田参事

所管の農政部としては、グリーンズのほうとしまして経営状況については毎月

のように関係者、部長以下向こうに出向きまして協議を行ってきてございます。今回のこういった取り組みにつきましても可能な範囲で行政として連携をとり、指導をしながら進めてきておりますし、実際に後任を探すのはグリーンズということになるわけですが、そういった中での情報の発信ですとか、あるいは行政としてできる部分があるのであればその取り組みをしていく必要があるというふうに思っております。

副委員長
窪之内

ほかに質疑ありますか。

今のところでいえば、後任については直営か委託かという方針もまだ決まっていないというふうに理解しているのかが1点。

その後任を選ぶという上で、しま田との契約解除が相手の事情であって、グリーンズ側の対応に問題がなかったのか。例えばグリーンズ側の対応に問題あったから俺はやめたのだみたいなうわさが広がるということは、後継者選びにもすごく問題が起きると思うのです。だから、そういう点では円満な契約解除だったということをお互い納得される状況だというふうに理解しているのか。しま田のほうから何かそういったうわさみたいのが流されるということになると困るというふうに私は思うのですけれども、その辺は大丈夫なのか。2点お伺いします。

多田参事

後任の直営か委託かでございますけれども、まだ方針は決まっていないということでございます。

それと、しま田との関係での円満な契約解除かということなのですが、円満な契約解除に向けてグリーンズとしても対応してきているというふうに思いますし、行政としても必要があればその中に入っていくながら円満な解除に向けて今取り組みを行っているところであります。

窪之内

その円満な解除に向けてという中で、黙っていれば円満でないというふうにもちょっと聞こえるのですけれども、例えば解除に至ったいろんな理由がある中で、新しい契約をする上で直営になるか委託になるかわからないのですけれども、考慮しなければならないという点がしま田との契約上のことで今度仮に契約することになれば仕様書の中身も含めてグリーンズ側として今までとは違った対応をしなければならないとかというような点というのは明らかになっているのでしょうか。

多田参事

その点なのですが、ご存じかというふうに思いますけれども、嶋田氏は当初はグリーンズの社員としてレストランのほうで経営をされておりました。それから、お互いに独立採算をしていくということから、嶋田氏が分社化をして現在のグリーンズからしま田のほうに契約をするという流れになってございます。そういった中では、あそこのレストランについて嶋田氏以上に知っている方は今のところいないのかなというふうにも思っておりますので、そういった今までできたことが今後新しく契約するところではできないということも踏まえながら、こういった契約をしていったらいいのかについては考えるように指導をしているところであります。

副委員長
小野

ほかに質疑ありませんか。

一応経営努力は認めるのですけれども、何が欠けているかといえば恐らく一体感がないのではなかったかなと思うのですが、この点についてはどう考えているのかということと、それから出資者としての自覚ということで、年間25万人の利用がありますよね。その利用に対して、何で食堂部門のほうに流れていか

なかったのか、その辺の営業努力云々というのもしていたのかなという、それを聞きたいのと、あと最終的に市の責任の方向性の問題はないのかどうか、それだけを伺います。

多田参事

一体感ということでございますけれども、先ほど少しお話しさせていただきましたけれども、グリーンズは最初自分の中で自社としてレストランを経営してございました。そういった中からレストラン部門だけを考えてみると、どうも大きな赤字を生んできているような面がある。そういう経過の中からレストランを分社化することによって、独立採算をすることによって責任の明確化が図られ、そしてその部分でお互いに黒字を出していけるような相乗効果で高めていくことができるのではないかとという要素もあって分社化をしてございます。分社化をしたメリットという部分では、そうやって相互に利益を出していくということがあるかというふうに思うのですけれども、逆にデメリットの一つとしては別の会社になるものですから、連携の不足といった面が大いにあるのかなというふうに思っております。その連携の不足を解消するために頻繁に協議、レストランとグリーンズ側との連携を密に行いながら進めてきた面がありますけれども、どうしても分社化による部分ということで一体感に欠けたり、営業ですとかそういったものを行っていくときになかなか思うようにいかないといった面もあったかなというふうに思っております。そういったことがあるものですから、ことしの4月からはグリーンズとして営業専門に、今までは焼き肉と営業というような形で両方兼務していた者がいたのですけれども、ことしからは営業専門にということで営業中心にいろいろと回って歩いて、温泉と食事と一緒にしたような形でチラシをつくりまして、管内ですとか営業に回っているところでございます。

3点目、市の責任ですけれども、市の責任というのが発生しないように、我々もその所管課としてグリーンズとしま田の契約ではあるけれども、そこに行政としてどうやってできることがあるのかということについて、その中に入り協議をしながら進めてきているというふうに思っておりますし、責任は十二分に感じながらその責任を果たしていきたいというふうに思っております。説明が不足している部分があるというふうに思っておりますけれども、行政としてもこのしま田から出てきた契約の解除について、はい、そうですかということではなくて、どういった形で、時期的な要素ももちろんあるといった面もあることから、しま田、グリーンズ、行政、その中で協議をしながら何とかやっていける方法がないのか、こんなことではどうだろうかといったことも含めて協議をしてきてございます。そういった中で、やむを得ず解約せざるを得ないといった背景があるというふうに思っておりますし、そういった中では行政としてもグリーンズに任せて行政のほうは引いた形ではなくて、行政も積極的にその中に入って取り進めてきたということをつけ加えさせていただきたいと思います。

副委員長

ほかに質疑ありますか。

木下委員外議員から発言の申し出がありましたので、発言内容の確認をいたします。

木下委員外議員

この年末年始を迎えてグリーンズ側がいろんなことを考えて解除に踏み切ったというようなことと今後の対応の仕方をお聞きしたいと思います。

副委員長

木下委員外議員から発言の申し出がありましたけれども、許可いたしますか。

(異議なしの声あり)

副委員長
木下委員外議員

2分以内でお願いいたします。
グリーンズ側が解除をいいですよということを言ったということは、私は何らかの形でグリーンズ側としては後継者というか後任者というのがちらちらと自分の頭の中にいるという中で許可したように私はどうも感じるのです。それで、これから年末年始で風呂も入りに来る方もいますし、それからコテージの関係も食事に来る方もいますから、その辺の関係も早急に行政側が入ってしてもらいたいことと、もう一つは今までいた調理人についても必ず今度の後継の人に引き継ぐような形を行政側として力強く発揮してもらって、市の責任というのか、市民が皆さん見えていますから、その辺の形の中で努力してもらいたいということが1点です。

以上です。

多田参事

グリーンズ側の後継についてですけれども、先ほどもお話しさせていただきましたが、グリーンズ側としては今、後継にどのような方ということが頭にあるかという、頭にはございません。

年末年始、書き入れどきでありますので、先ほどもお話しさせていただきましたが、早急に取締役会等で協議をし、決定をし、進めていきたいというふうに思っています。

それと、調理人の関係でございますけれども、しま田が今後どのような形で対応されるのかというのがまず第一。しま田が雇用されている調理人であったり嶋田氏自身の今後であったりということなので、しま田自身がまずどういうふうにされるのかというのが一番かなというふうに思っています。その中でグリーンズとしてやるべきことがあるのか行政として何か支援することがあるのか、そういうことがあれば対応をしていきたいというふうに思っています。

以上です。

副委員長

ほかに質疑ございませんか。

(なしの声あり)

副委員長

なければ、報告済みとさせていただきます。

2. その他について

副委員長

それでは、その他について私のほうからありませんけれども、委員の皆さんからありますか。

(なしの声あり)

副委員長

事務局からありますか。

(なしの声あり)

3. 次回委員会の日程について

副委員長

それでは、次回委員会の日程でございますけれども、正副委員長にご一任願いたいと思いますがよろしいですか。

(異議なしの声あり)

副委員長

それでは、これで第16回経済建設常任委員会を閉会させていただきます。
大変ご苦労さまでした。

閉 会 10:35